

このたびは数あるスピーカーの中から GENELEC 6010A をお選びいただきありがとうございました。

製品の概要

GENELEC 6010A は極めてコンパクトなバイアンプ 2 ウェイ・アクティブ・スピーカーで、ホームシアターやプロフェッショナルなマルチメディア用途向けに設計されています。

アクティブ・スピーカーとして、本機はドライバーとパワー・アンプ、アクティブ・クロスオーバー・フィルター、保護回路を内蔵しています。MDE™ (Minimum Diffraction Enclosure) スピーカー・エンクロージャーはアルミ・ダイキャスト製で、エッジ回折を低減するように形成されています。

先進の Directivity Control Waveguide™ (DCW) と組み合わせることによって、このデザインは音響的に悪条件な環境でも優れた周波数バランスを提供します。

必要に応じて 6010A の低音特性は別売の GENELEC 5040A サブウーファーを使って補強することができます。

設置

電源コード、固定金具一式、信号ケーブル (3.5 mm ジャック⇔2×RCA 及び RCA⇔RCA)、取扱説明書、セットアップ・ガイドが付属しています。開梱後、6010A を適切な位置に設置してください。

マウント設定時の注意

- 向きを正しく：必ず音響軸が聴取位置の耳の高さを向くように配置しましょう (図 1 及び図 2 参照)。クロスオーバー周波数周辺での音の干渉問題を最小限に抑えることができますので縦置きをお勧めします。
- 左右対称を保つ：6010A が聴取位置から左右対称かつ等距離に置かれていることを確認しましょう。可能ならば聴取位置が部屋の中心線上に来て、6010A が中心線から等距離になるようにシステムを設置してください。
- 音反射を最小にする：6010A に近い机や PC のモニター等の物体からの音反射は音像にカラーレーションやにじみを発生させることがあります。6010A をそのような表面から離して設置すれば音反射を最小限に抑えることができます。

最小の隙間

6010A を本棚のような狭い空間内や壁面内に組み込む場合は、アンプの十分な冷却とバスレフ・ポートの動作に注意してください。

6010A の周囲は、背後と上及び左右両側に最小 2.5 cm の隙間を保って、リスニング・ルームに対して開放されている必要があります。アンプ周りの空間は、熱が逃げて周囲温度が 35℃ を越えないように通気が確保されているか、あるいは十分に広い必要があります。

接続

付属電源コードを使って 6010A を電源コンセントに接続します。

6010A と信号源の電源が切っていることを確認してください。

6010A はアンバランスの RCA 10 k Ω 音声入力コネクタを装備しています。付属の信号ケーブルは 3.5 mm ジャックか RCA タイプのオーディオ・コネクタを使って 6010A をライン・レベルの信号源に接続できます。信号源には次のようなものがあります：プリアンプ、PC のサウンドカード、携帯型オーディオ・プレーヤー、AV アンプ等の “PRE OUT” コネクタ。

アクティブ・スピーカーとして 6010A はアンプを内蔵していますので、他にアンプを用意する必要はありません。パワー・アンプや一体型アンプやレシーバーのスピーカー出力には 6010A を絶対に接続しないでください。

接続が完了したら 6010A の電源を入れることができます。

設定スイッチ

6010A の入力感度は背面の LEVEL トリムをねじ回して調節すれば音声信号源の出力に合わせることができます。

6010A の周波数特性は背面のトーン・コントロール・スイッチ (BASS TILT と DESKTOP CONTROL) を設定することで音響環境に合わせて調整できます。表 1 は様々な状況での設定例を示し、図 4 は無響室でのコントロール特性の変化です。

平坦な無響室特性になるようにこのスイッチの工場出荷時の設定はすべて OFF です。必ず OFF 設定から調整を始めて、設定の組み合わせをシステムチェックに変えながら測定・試聴して最良の周波数バランスをアジャストしてください。

- BASS TILIT (SW1 & SW2)**：低域の特性を 3 段階 (-2 dB (SW1 ON)、-4 dB (SW2 ON)、-6 dB (SW1 & SW2 ON)) で減衰させます。6010A を壁や床や天井近くに配置する場合に必要です。
- DESKTOP CONTROL (SW3)**：200 Hz 周辺の低音周波数を 4 dB だけ減衰させます。リスナーとスピーカーとの間にテーブルなどの水平な表面がある場合にしばしば生じるこの帯域のブーストを補正するための機能です。

表 1：様々な音環境に対するトーン・コントロールの推奨設定

スピーカー取付位置	DESKTOP CONTROL	BASS TILT
音響反射のない無響室	OFF	OFF
吸音処理された部屋でフロアスタンドに設置	OFF	OFF
音響反射がある部屋でフロアスタンドに設置	OFF	-2 dB
壁の近く	OFF	-6 dB
テーブル置きで反射面がある場合	ON (-4dB @200Hz)	-2 dB
部屋の隅やキャビネット内に設置した場合	OFF	-6 dB

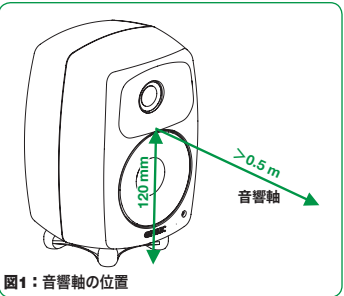


図 1：音響軸の位置

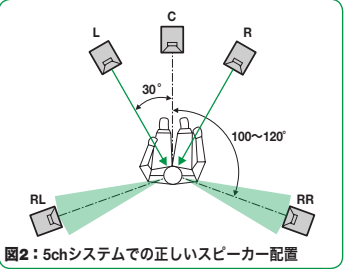


図 2：5chシステムでの正しいスピーカー配置

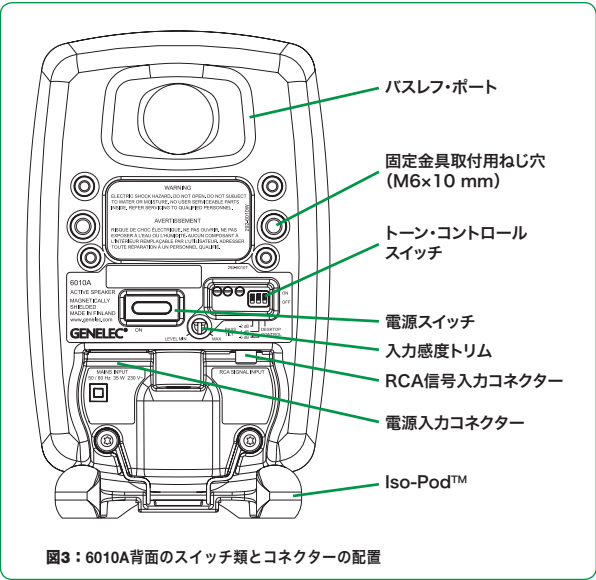


図 3：6010A背面のスイッチ類とコネクタの配置

設置方法の選択肢

6010A には設置方法がいくつかあります：Iso-Pod™ (Isolation Positioner/Decoupler) を使えばスピーカーを傾けて音響軸調整が可能です。

付属の取付金具を使えば 2 種類の角度で 6010A を壁から吊すことができます。

6010A 底面には標準マイク・スタンドや他の GENELEC アクセサリーと互換性のある 3/8" UNC ねじ穴があり、背面には Omnimount® や VESA や Sanus ブラケットに使えるねじ穴もあります。

オプションに関して詳しくはアクセサリ・カタログをご覧ください。

オプションのボリューム・コントロール 9000A

6010A 専用の別売 5040A サブウーファーにはリモートのボリューム・コントロールが付属しておりますが、6010A 単独でリモートの音量調整が必要な場合は 9000A ステレオ・ボリューム・コントロールをお買い求めください。6010A 本体と同じカラーを用意しております。

保守作業

アンプ・ユニット内にはユーザーが交換可能な部品はありません

6010A の保守や修理は資格のあるサービスマンにお任せください。

安全に関する注意事項

6010A は世界的な安全規格に従って設計されていますが、安全な動作を確実にするため、また 6010A を安全な使用条件下に保つためにも以下の注意事項はお守りください：

- 保守や調整は資格のあるサービスマンが行ってください。本機を分解しないでください。
- 本機を水や水分にさらさないでください。液体の入った容器 (例えば花瓶) をスピーカーの上や近くに置かないでください。
- 本機は恒久的な聴覚障害を引き起こし得る 85 dB を越える音圧レベルを出すことができます。
- 十分な冷却を保つために本機背面には空気が自由に流れることが必要です。本機周囲の空気の流れを妨げないでください。
- 電源コードをアンプまたは電源コンセントから抜かないかぎりアンプは AC 電源から完全には切り離されません。

6010A

Operating Manual
GENELEC 6010A
Active Loudspeaker

GENELEC®

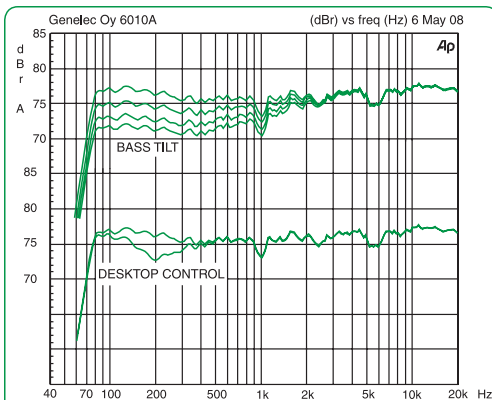


図 4：トーン・コントロールの周波数特性

システム・トータル特性

低域カットオフ周波数 (-3 dB) ≤ 73 Hz高域カットオフ周波数 (-3 dB) ≥ 21 kHz周波数特性 74 Hz ~ 18 kHz (± 2.5 dB)

瞬間最大音圧レベル (100 Hz ~ 3 kHz) :

 ≥ 93 dB SPL (@1 m) ≥ 99 dB SPL (@0.5 m)定格音圧 ≥ 91 dB SPL (@1 m)ミュージック・パワー ≥ 102 dB (@1 m)残留ノイズ ≤ 5 dB (A-WTD)高調波歪 (@1 m, 80 dB SPL) $< 3\%$ (70 ~ 400 Hz)、 $< 0.5\%$ (400 Hz ~)

ドライバー・ユニット :

ウーファ= 76 mm コーン型

ツイーター= 19 mm メタルドーム型

重量 1.4 kg

外形寸法 (WxHxD mm) 121x181x114 (Iso-Pod 付き高さ = 195 mm)

クロスオーバー・セクション

入力コネクター RCA メス、10 k Ω アンバランス (ピン+, スリーブ-)

入力感度 -6 dBu (音量ボリューム MAX 時)

ボリューム調整範囲 -12 dB (最大出力から)

クロスオーバー周波数 3.0 kHz

DESKTOP CONTROL 範囲 0 ~ -4 dB (@200 Hz)

BASS TILT 可変量 0、-2、-4、-6 dB (@100 Hz)

工場出荷時設定 :

全トーン・コントロール OFF

入力感度ボリュームは MAX 位置

パワー・アンプ部特性

低域用パワー・アンプ定格出力 12 W (8 Ω)高域用パワー・アンプ定格出力 12 W (8 Ω)

(ドライバー・ユニット保護のため出力制限回路あり)

歪特性 $\leq 0.08\%$ (THD + N)電源電圧 100 V ($\pm 10\%$)

消費電力 5 VA (無信号時)、35 VA (最大出力時)

仕様及び外観は予告なく変更になる場合があります。

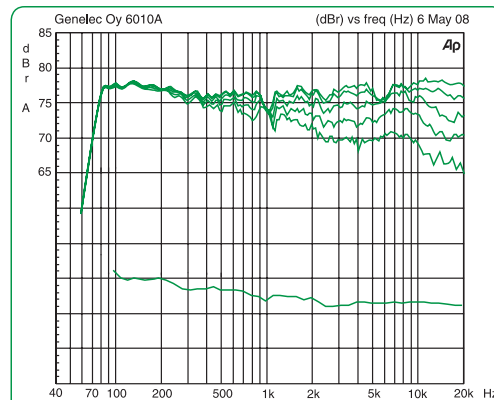


図 5：水平角度の違いによる周波数特性の変化 (上側) とシステム特性 (下側)

品質保証

6010A は購入後 2 年以内に製造上の問題が原因で故障した場合は無償修理いたします。修理等については購入された販売店またはオタリテック株式会社にお問い合わせください。

オタリテック修理窓口

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16

オタリテック株式会社 技術部サービス課

TEL 03-6457-6022 / FAX 03-5285-5282

電話受付時間 平日 9:10 ~ 17:50

修理依頼時の確認事項

1. 型番 6010A (ロケゼロイチゼロエー)
2. シリアル番号 (本体背面に表示)
3. 購入年月日 / 製品登録カードの有無
4. お買い上げの販売店名
5. ご使用時の電源電圧
6. 故障の症状

この取扱説明書はフィンランド GENELEC 社の許諾を受け、オタリテック株式会社が英語版 "6010A Operating Manual" (2008 年 5 月) を翻訳・編集したものです。当社の許可無く複製すること、及び取扱説明書本来の目的と異なる用途に使用することを禁止します。

Japanese translation ©2008, 2012 Otaritec Corp.

日本語版アクセサリ・カタログはオタリテック株式会社ウェブサイトの GENELEC ページからダウンロードできます。

GENELEC 日本総代理店

オタリテック株式会社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16

TEL 03-6457-6021 / FAX 03-5285-5281 www.otaritec.co.jp



オタリテック株式会社